

# 『心不全患者さんへの薬剤指導』 心不全療養指導士としての取り組み について

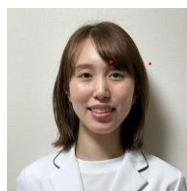
## 長崎みなとメディカルセンター

心不全患者さんの生命予後を改善するための取り組み

心不全患者さんへの薬剤指導と地域との  
連携を深めていくこと



心臓血管内科  
診療部長  
布廣 龍也先生



薬剤部  
心不全療養指導士  
平野 有紀先生

### Q1 『心不全患者さんの服薬指導』 について

心不全患者さんには、退院後の心不全増悪や再入院を防ぐための薬剤が処方されております。それぞれの薬剤がどういう目的で処方されているかを理解していただくことで患者さんの服薬アドヒアランスは向上すると考えています。そのため当院では心臓病手帳を使いながら服薬意義をお伝えするようにしております。

また、患者さんの中には複数種類の薬剤を服用している方も多いため、薬剤調整を行ったり用法をまとめるよう努めています。患者さんの生活環境に配慮したり、ご家族を含めて指導を行うなど個別性のある指導を行うことが重要と考えております。

### Q2 『心不全療養指導士の資格を取得してからの取り組み』

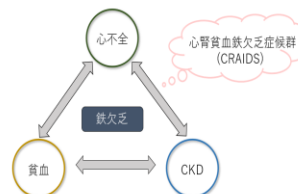
心不全療養指導士を取得してからは多職種や地域との連携に力をいれています。取り組みの1つとして、調剤薬局へ薬剤管理サマリを送付し情報提供を行うことで、切れ目のない指導につなげ薬薬連携を図るようしています。

近年、心不全における貧血への介入が着目されています。当院でも先行的な取り組みを行い発

信していきたいと考えております。

当院薬剤部では資格取得者がまだ少ないため部内での教育や指導行い後進育成に寄与していきたいと考えています。そして将来的には地域連携につなげられるよう励んでいきたいと思っております。

心腎貧血症候群 (CRAS)



薬剤管理サマリ

| 薬剤管理サマリ |      |
|---------|------|
| 患者情報    |      |
| 氏名      | 性別   |
| 年齢      | 科    |
| 病室      | 医師   |
| 薬剤師     | 薬剤師  |
| 処方薬剤    |      |
| 薬剤名     | 剤形   |
| 用量      | 用法   |
| 処方日数    | 処方期間 |
| 処方理由    | 処方者  |
| 処方薬剤    | 剤形   |
| 用量      | 用法   |
| 処方日数    | 処方期間 |
| 処方理由    | 処方者  |
| 処方薬剤    | 剤形   |
| 用量      | 用法   |
| 処方日数    | 処方期間 |
| 処方理由    | 処方者  |

退院時薬剤情報連携開始